

再発防止策の実施状況 [参考資料]

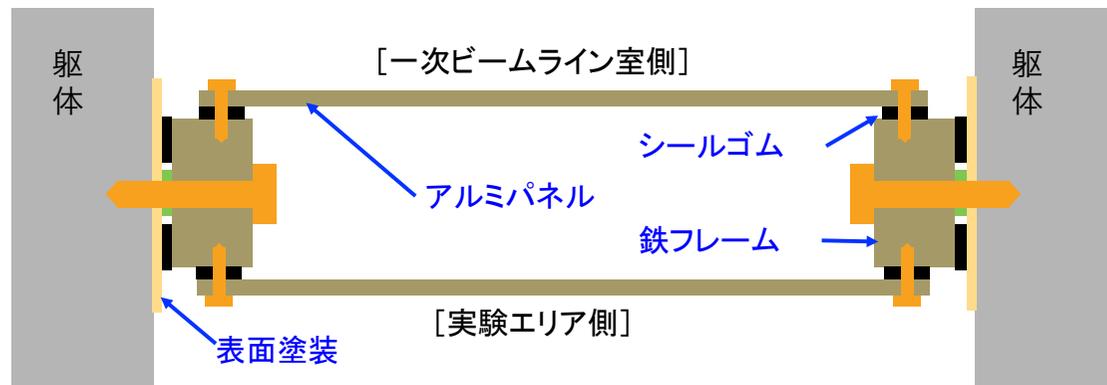
2015年3月5日
J-PARCセンター

2次ビームライン開口部の気密強化

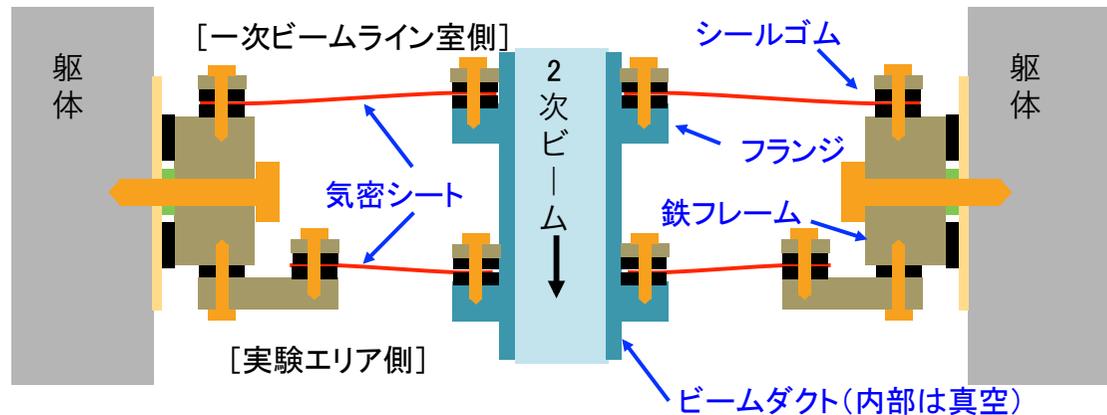
2次ビームライン開口部の気密強化

- 2次ビームライン開口部の空気隔壁を二重化すること
- 各隔壁は、前項の天井部遮へい体の気密シート及び既設のコンクリート構造体との境界部において、コーキング材等でそれぞれ隙間なく気密処置を施すこと

- 開口部のコンクリート躯体壁に鉄フレームを介しアルミパネル2枚を取付け、空気隔壁を二重化する

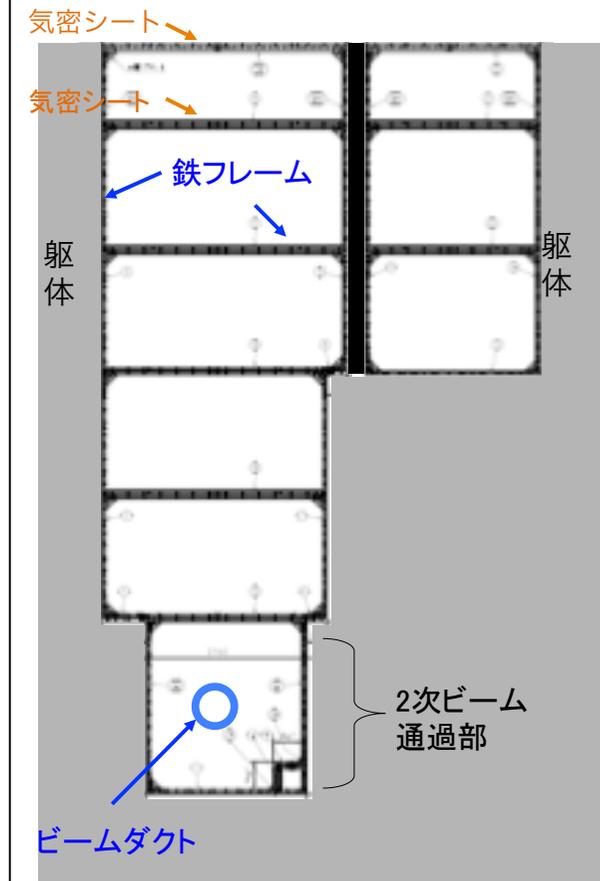


- 2次ビーム通過部では、鉄フレームあるいはアルミパネルと、ビームダクトのフランジとを気密シートでつなぐ



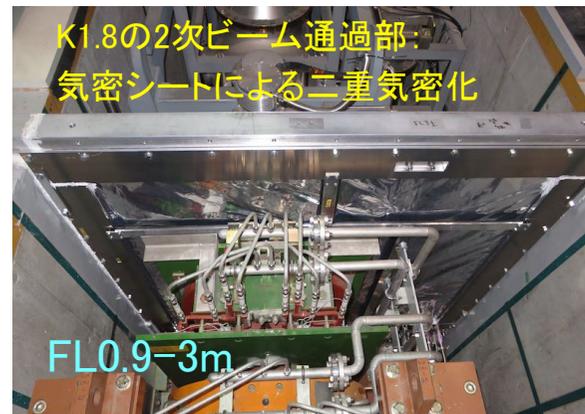
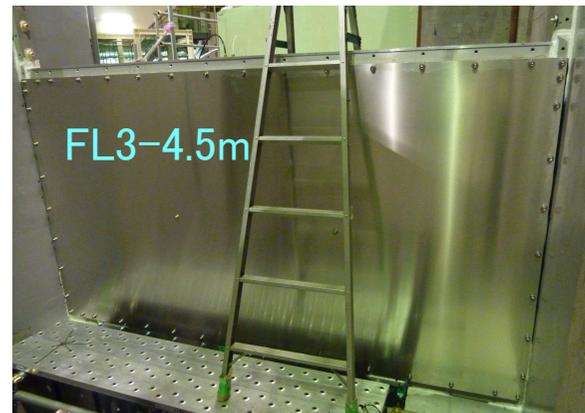
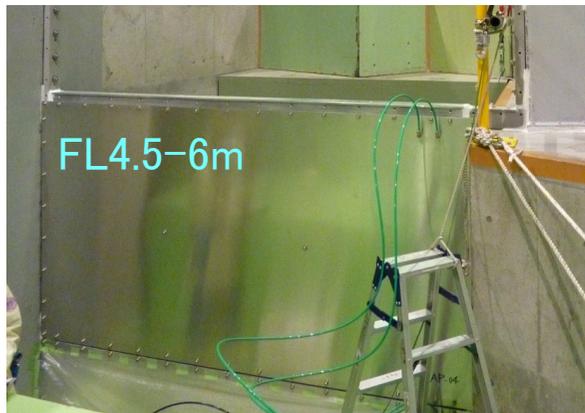
開口部を上から見た図

- 二箇所にて天井部気密シートを取付ける

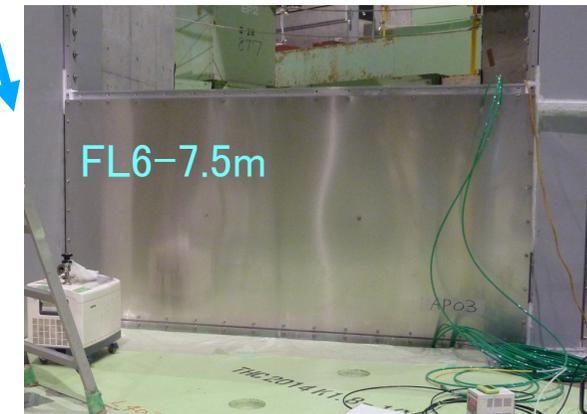
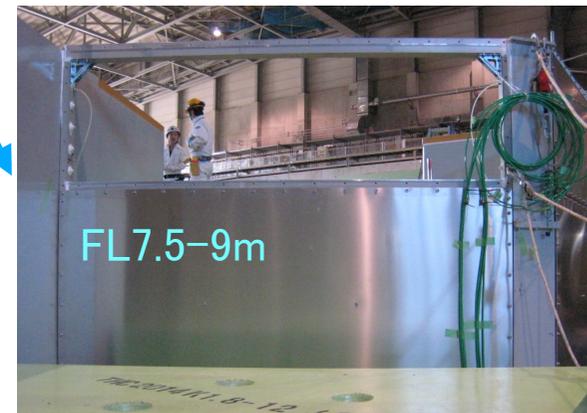
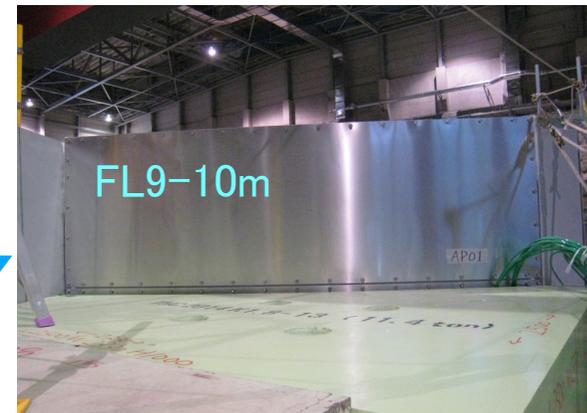
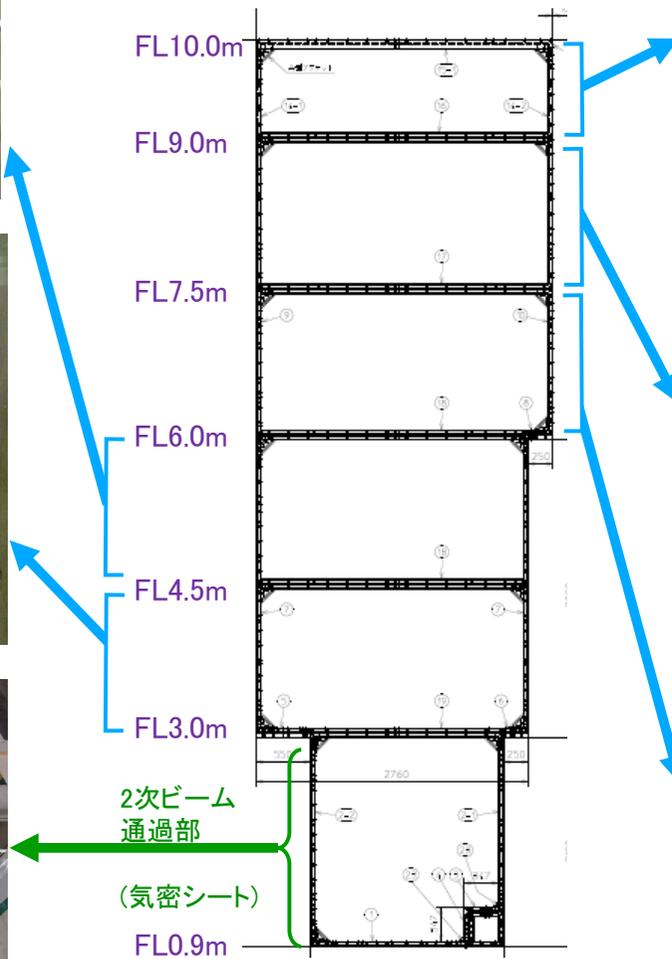


開口部を正面から見た図

2次ビームライン開口部の気密強化



K1.8ビーム部 :アルミパネル取り付け



ケーブル貫通口の気密強化

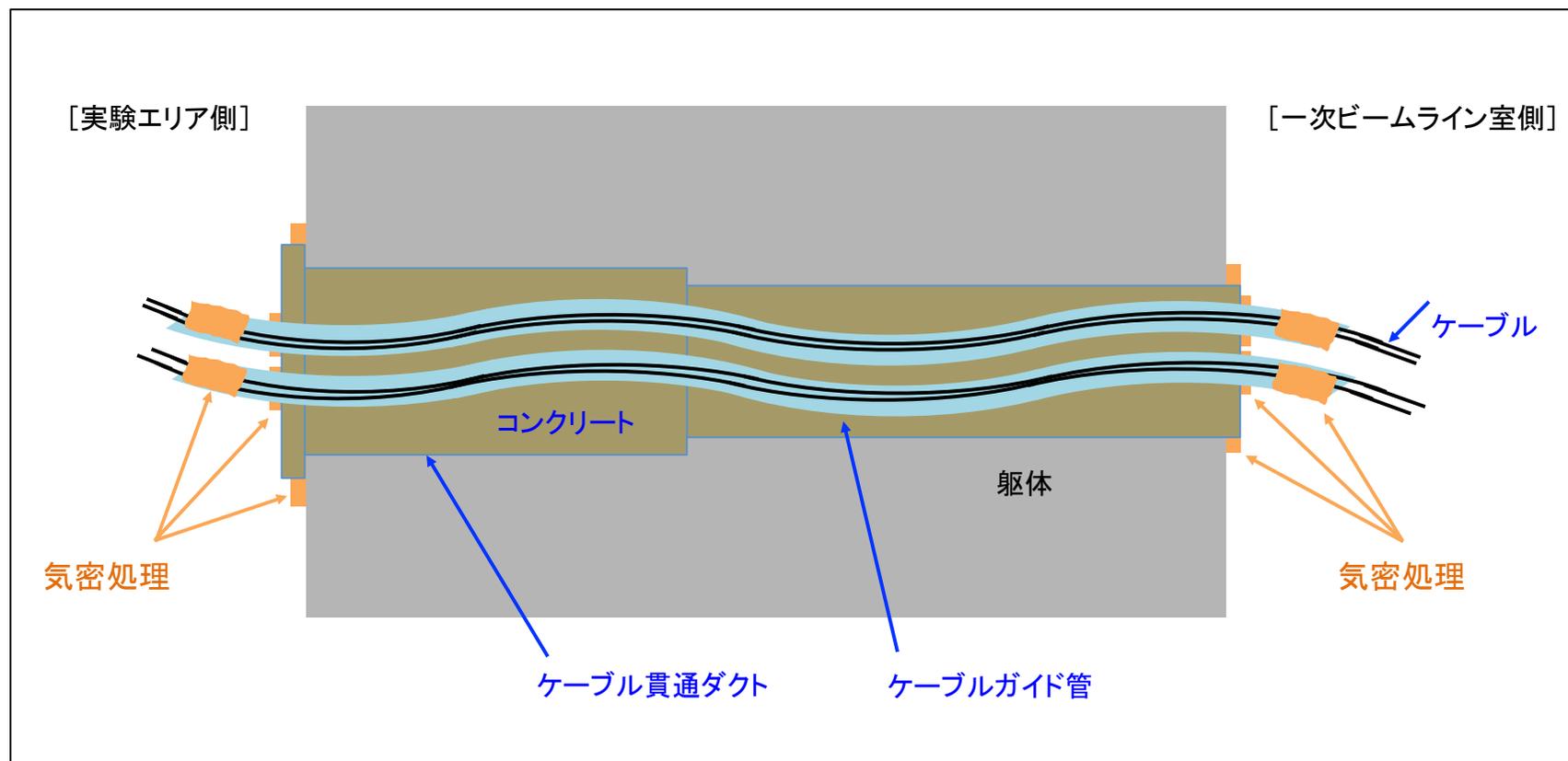
ケーブル貫通口の気密強化

- 貫通ケーブルの出入口について、二重にコーキング材等でそれぞれ隙間なく気密処置を施すこと

ケーブル貫通部の気密処置

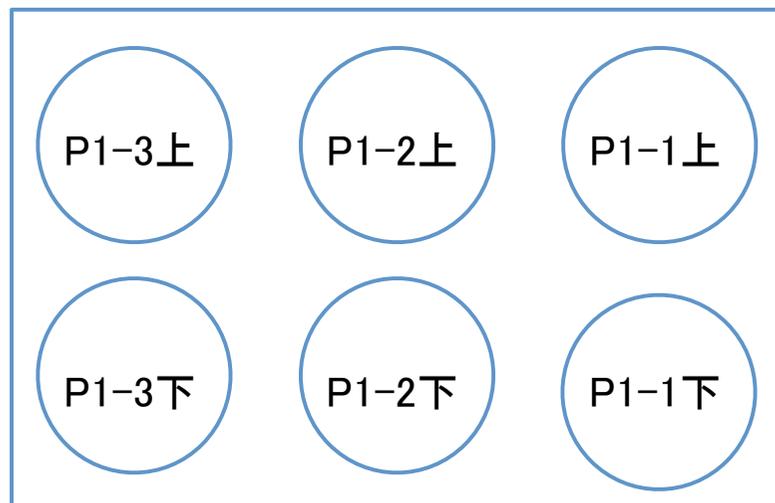
ケーブル貫通ダクトはコンクリート躯体に挿入されている

ケーブルの出入口、ケーブル貫通ダクトの出入口、ケーブルガイド管の出入口のそれぞれについて、コーキングなどにより気密処理を施す



ケーブル貫通口の気密強化

P1施工[実験エリア側]



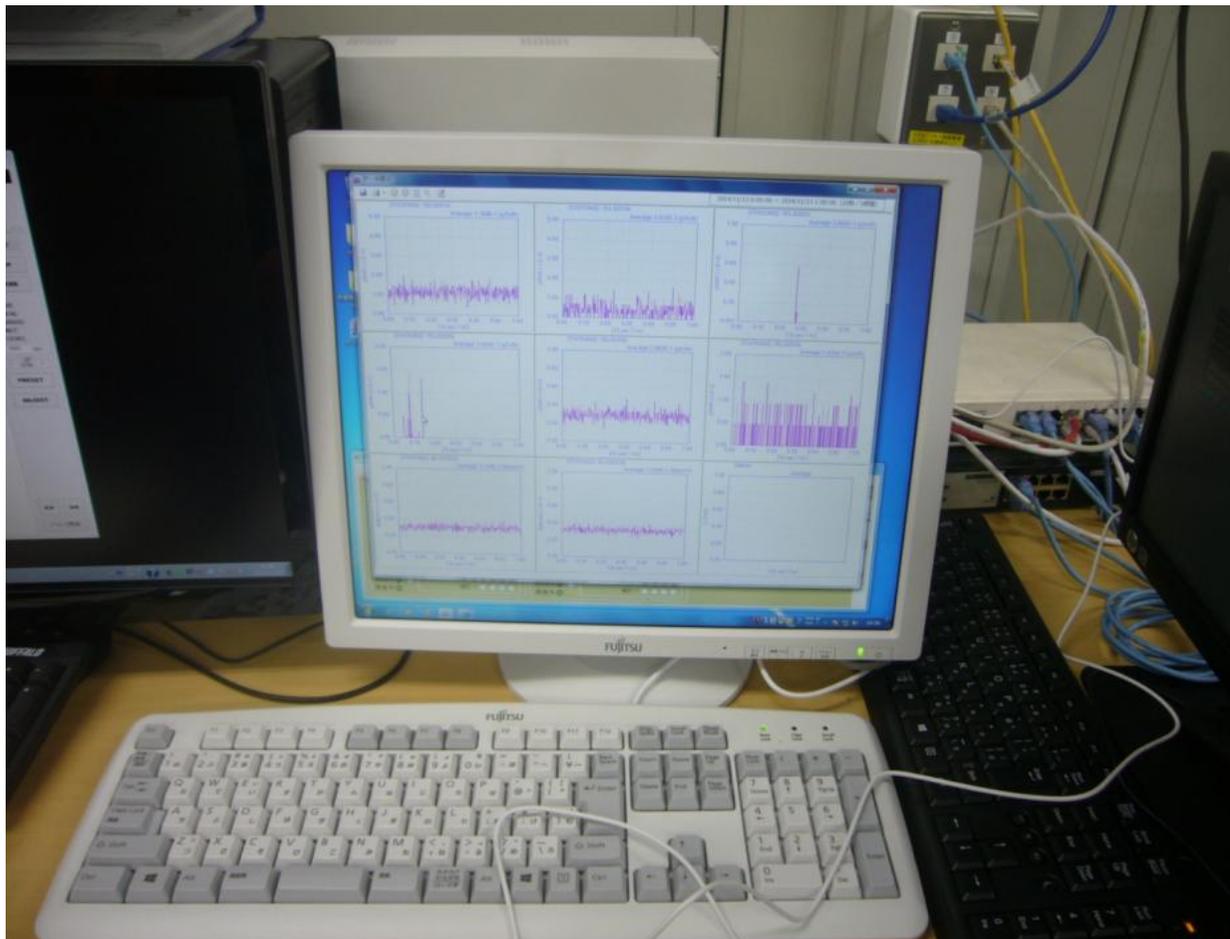
- P1-1は信号貫通ダクトとして使用
- P1-2,P1-3は現在未使用、blankフランジ止め



P1[実験エリア側施工後写真]

シフト員の常駐場所に設置された 放射線監視端末

- 放射線モニタトレンド表示及び警報発生用端末（運転管理室）



ハドロン実験ホール内に設置された 放射線モニタ情報表示用ディスプレイ

- 実験エリア入口に設置されたディスプレイ



- ホール内各所に設置されたディスプレイ

ホール北側入口



ホール南側入口



K1.8実験エリア入口



K1.8BR実験エリア入口



K1.1BR実験エリア入口



KL実験エリア入口

